

2019年12月13日
公益財団法人渋谷育英会

インドネシア・ジャカルタ 第4回日本語作文スピーチコンテスト 特別協賛について

2019年12月7日、ダルマプルサダ大学において開催された公益財団法人小丸交通財団と広島大学 PERSADA 共同プロジェクトセンターの共催による「第4回ジャカルタ日本語作文スピーチコンテスト」に特別協賛しました。

このコンテストは、テーマを「交通」とし、インドネシアの日本語教育をリードする10大学122人の学生の応募があり、その中から選出された優秀賞受賞者10人がコンテストに出場しました。会場には、日本語を学習する学生や日本語教員など約250人の聴衆が集まりました。

コンテストの冒頭には、公益財団法人小丸交通財団の小丸成洋理事長、インドネシア元日本留学生協会（PERSADA）のイスマジ ハディスマルト副会長、ダルマプルサダ大学のトリ マルジョコ学長からご挨拶を賜りました。続いて、来賓として在インドネシア日本国大使館の石井正文特命全権大使からご挨拶を賜りました。

コンテストでは、優秀者10人のスピーチが披露され、最優秀賞には「インドネシアでは法律で未成年の運転が禁止されているにも関わらず、未成年の運転が横行しており周囲も容認している。もし家族や友達に未成年で運転している人がいれば注意を呼びかけてほしい。」とスピーチしたダルマプルサダ大学のリズカ ラマダニさんが選ばれました。最後に、広島大学森戸国際高等教育学院の本田義央教授から閉会のご挨拶を賜りました。



(第4回ジャカルタ日本語作文スピーチコンテスト記念撮影)